

平成29年度第1回経営協議会議事要旨

日 時 平成29年6月21日（水）9時50分～12時17分
場 所 札幌駅前サテライト（教室1）
出席者 学外委員：今井、柿沼、蔵本、立川、高橋、松岡
学内委員：蛇穴、大津、佐川、阿部、石川
オブザーバー：高橋（教）、中尾、蛭田、志手
欠席者 学外委員：内田

◎ 平成28年度第5回議事要旨の確認

学長から、資料2に基づき説明があり、これを承認した。

◎ 議題

1 平成28事業年度に係る法人評価について

志手副学長から、資料3-1から3-4に基づき、平成28事業年度に係る法人評価に関し、「学内自己評価書」及び国立大学法人評価委員会に提出する「業務の実績に関する報告書」について説明があり、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

2 教職大学院の教育・研究活動等に係る自己点検評価書について

志手副学長から、資料4-1及び4-2に基づき、教職大学院の教育・研究活動等に係る「自己点検評価書」について説明があり、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

3 教職大学院認証評価に係る自己評価書について

志手副学長から、資料5-1及び5-2に基づき、平成29年度に受審する教職大学院認証評価に関し、一般社団法人教員養成評価機構に提出する「自己評価書」について説明があり、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

【学外委員からの主な意見等】

○ 入学定員の安定的な確保を図るためには、教職大学院への入学動機に結びつく魅力を周知しなければならない。教職大学院で学んだことが、修了後の進路にどう活かされたのか、また、教育現場における実践で、いかに活用できたのか等のエビデンスを公表する機会を設けるなど、積極的な広報が必要であると考えます。

4 平成30年度概算要求について

財務課長から、資料6に基づき、平成30年度概算要求の概要について説明があり、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

5 平成28年度決算（案）について

財務課長から、資料7-1及び7-2に基づき、平成28年度決算（案）について説明があり、審議の結果原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

【学外委員からの主な意見等】

- 大学が取り組むべき重点となる柱を学内でしっかりと議論し、予算措置していくと共に、施設の維持管理等にも配慮しながら、より一層、効果的な運営を図っていくことが重要である。
- 現在、「地方創生」に関する国の補助金事業が多く設けられている。北海道は、これに該当する自治体が多くあると考えられるので、へき地教育など、大学が持っている特色ある教育・研究を活かし、当該自治体と連携するなどして補助金獲得に向けた取組を行ってはどうか。

◎ 報告

1 北海道教育大学基金について

石川理事から、資料8に基づき、平成28年度収支決算書及び平成29年度事業計画等について、報告があった。

【学外委員からの主な意見等】

- 大学に関係のある個人や団体が、学生のサポートについて、関心を持って支援していくことが重要であると考えます。

2 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

志手副学長から、資料9-1及び9-2に基づき、国立大学法人評価委員会から通知のあった第2期中期目標期間の評価結果について、報告があった。

【学外委員からの主な意見等】

- 改善すべき点として指摘されている大学院修士課程における定員の未充足について、学長の指導の下、全学を挙げて、現在の定員を充足させることを目標に取り組んでほしい。

3 平成29年度国立大学改革強化推進補助金の交付内定について

財務課長から、資料10に基づき、平成29年度国立大学改革強化推進補助金の交付内定について、報告があった。

4 平成29年度文化芸術振興費補助金の交付内定について

財務課長から、資料11に基づき、平成29年度文化芸術振興費補助金の交付内定について、報告があった。

5 平成28年度監事監査報告書について

学長から、資料12-1及び12-2に基づき、監事から学長に提出のあった「平成28年度監事監査報告書」について、報告があった。

6 平成29年度監事監査計画について

学長から、資料13に基づき、監事から学長に提出のあった「平成29年度監事監査計画」について、報告があった。

7 平成28年度卒業（修了）生の就職状況等について

佐川理事から、資料14-1から14-2に基づき、平成28年度卒業（修了）生のキャンパス別就職状況等について、報告があった。

【学外委員からの主な意見等】

- 中期計画で掲げる教員就職率75%の確保に向けた措置について、現状の教員就職率等を勘案し、数値目標の達成に向けた措置を講じていくことが必要であると考えます。
- 教員就職率を向上させるためには、教師への強い志望動機を持った学生を入学させる必要があるのではないかと考えます。また、大学のカリキュラムやキャリア教育の中で、学生に教師という職業の魅力をこれまで以上に伝えていくことが重要であると考えます。
- 大学教員は、日々の指導の中で、学生に対して、教師の魅力をしっかり伝えていっていると思うが、それに対する学生からの反応がどうだったのか等、学生の生の声を集約して確認してはどうか。また、そういった認識を確認した上で対策を講じることが、教員採用試験の受験率の更なる向上のために必要なことであると考えます。
- 学生と大学教員との関係について、学生から授業評価が出された後、それを学生に戻して内容を確認するなど、「デュアルな関係」を構築しなければ、指導がうまくいかないのではないかと考えます。教える側と教わる側の「デュアルな関係」を構築し、きめ細やかな指導を行っていくことが大きな鍵だと考えます。

8 不適切な単位認定行為の再発防止について

学長から、資料15に基づき、本学で生じた不適切な単位認定行為の概要について、報告があった。

◎ その他

1 北海道教育大学附属学校園の運営の現状等について

大津理事から、資料16に基づき、平成28年度第5回経営協議会（平成29年3月24日開催）において、学外委員から質問のあった附属学校園の運営の現状等について、説明があった。

2 旭川校教員の復帰について

学長及び石川理事から、これまでの経過等について、報告があった。

以 上